

## 創立70周年記念全国へき地・小規模校教育研究大会を目指して

宮崎県へき地・小規模校研究連盟

会長 原田 政文

(延岡市立三川内小中学校 校長)

本連盟は、県内のへき地校や複式学級を有する学校を加盟校（令和3年現在75校）としており、「各教育機関との連携を密にし、本県へき地教育の振興、複式指導の充実、小規模校教育の充実・発展を図ること」を目的としています。本組織は、全国へき地教育研究連盟・九州地区へき地教育連盟に加盟しており、各研究大会を通じて、研究成果を交流し、へき地教育の充実を図っています。その全国組織の第1回の研究大会は昭和27年に北海道で開催されています。昭和43年にはこの宮崎で行われたことが全国の記念誌に記されていました。令和3年には、2回目の全国大会が廻ってきます。しかも、節目となる70周年記念大会とし開催されます。たくさんの方々に参加していただき、交流を図っていただきたいところですが、コロナ禍で500名を上限として開催する運びとなりました。とはいえ、県内で300名を予定しております。

へき地には、厳しくも恵まれた自然や地域独特の文化・伝統が存在し、子どもたちをまるごと包み、はぐくむ土壌があります。学年・校種を越えての活動や伝統があります。一方では、少人数であるがゆえの課題もあります。現在、研究主題「ふるさとに夢や誇りをもって、未来の創り手となる子どもの育成」～へき地・複式・小規模校の特性を生かした学校・学校経営と学習指導の深化・充実をめざして～に即して研究を進めております。平地校に勤務されている先生方、特に経験の浅い先生方にもぜひ大会に参加していただき、教育の原点といわれるへき地・小規模校の教育実践から多くのことを一緒に学んでいただけたらと思います。多数のご参加お待ちしております。

最後になりましたが、数年前から70周年記念宮崎大会に関わっていただいた校長先生方、また、本会推進にご支援、ご協力いただいている関係機関、関係者の皆様に深く感謝申し上げます、あいさついたします。